

2012年10月吉日

一般社団法人  
日本周産期・新生児医学会

会員 各位

一般社団法人 日本周産期・新生児医学会

理事長 田村 正徳



抗インフルエンザウイルス薬(ラニナミビルオクタン酸エステル水和物)の  
妊婦・新生児に対する特定使用成績調査への協力依頼について

謹啓

時下、先生におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、第一三共株式会社よりラニナミビルオクタン酸エステル水和物(以下、ラニナミビル)が妊婦に投与された症例をレトロスペクティブに調査し、妊婦ならびにその新生児に対する安全性を検討する調査を計画しており、日本周産期・新生児医学会に協力依頼の申し出がありました。

2009/2010 シーズンに新型インフルエンザウイルスが世界的に大流行しましたが、妊婦は重症化しやすいため、インフルエンザ感染症に罹患した妊婦に対しては、抗インフルエンザウイルス薬による早期治療が重要となります。

タミフル、リレンザにつきましては妊婦に対する安全性データが集積されていますが、現時点においてラニナミビルの妊婦に対する安全性は十分に検討がなされておりません。

ラニナミビルの妊婦への安全性が確認されれば、妊婦に対する治療の選択肢の拡大につながり、妊婦の健康維持にも寄与できると考えます。

つきましては、貴施設におきまして該当症例がございましたら、ラニナミビルの特定使用成績調査にご協力を賜りたくお願い申し上げます。

なお、本調査は、厚生労働省の承諾を得て実施される調査です。

末筆ではございますが、先生の益々のご発展をご祈念申し上げます。

謹白